

令和3年6月11日

国土交通政策研究所

「途上国・新興国におけるリープフロッグ事例調査」の公表

国土交通政策研究所では、先進国が長い年月をかけて辿ってきた段階的な発展過程を、新たな技術の活用により発展途上国・新興国が一足に飛び越える、近年のいわゆる「リープフロッグ」型の発展に着目し、その主要な事例について詳細を調査しました。

国土交通政策研究所では、我が国政府の重点施策の一つであるインフラシステムの海外展開について、その効果的な戦略立案に資するための基礎的な調査を5カ年程度の計画で実施しており、本調査はその一環となるものです。

1. 調査の背景・目的

今後のインフラシステム海外展開を考えるに当たっては、対象国・地域の発展形態や社会情勢・法制度等のインフラ整備の背景とニーズを適確に踏まえることが重要です。

特に近年では、先進国が長い年月をかけて辿ってきた段階的な発展過程を、途上国・新興国が新たな技術の活用により一足飛びに飛び越える現象、いわゆる「リープフロッグ (Leap (跳躍) Frog (カエル))」型の発展形態が出現しています。

本調査は、そのような生の事例の詳細を調査・整理することにより、インフラ輸出のための新たなビジネス創出に向けた参考資料となることを目的としています。

2. 調査事例

アフリカ・アジア地域において、以下のリープフロッグ8事例を抽出し、対象国・都市の発展課題、地理的特徴、社会情勢、先進技術導入のきっかけ、事業主体、事業スキームなど、詳細な実態をケーススタディとしてまとめました。

ルワンダ

- ・ドローンによる血液・医療物資輸送
- ・スマホを活用したEV配車サービス

タンザニア

- ・未電化地域向け電力事業

ナイジェリア

- ・オンデマンド型のライドシェアバス
- ・感染症対策デジタルプラットフォーム

パキスタン

- ・ICTを活用した都市監視システム

インド

- ・都市交通スマートシティ計画

台湾

- ・Maas (定額制の公共交通乗り放題サービス)

※詳細は下記掲載ページをご参照ください。

<https://www.mlit.go.jp/pri/shiryoku/press/press210611.html>

【問い合わせ先】

国土交通政策研究所 中山主任研究官、竹内主任研究官、戸川総括主任研究官

TEL: 03-5369-6002 (内線 114) FAX: 03-5369-6009 E-mail: hqt-pri@gxb.mlit.go.jp